

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたい、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題と一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

## 「令和の米騒動」

農水大臣の更迭劇から一転して政府備蓄米の追加放出が決まりようやくコメの店頭価格が下がって来ました。近所の食品スーパーではそれまで5kg 4500円前後で推移していたものが3880円で売られはじめました。8月には早場米が入荷するので、国民がこぞって買い控えをすれば3500円、作柄に異常がなければもっと安く手に入りそうです。

買い占めに走って暴騰、流通量増加で価格低下。商品の需給によって価格が決まる教科書通りの展開です。そもそも今回の米騒動の発端は突如「南海トラフ地震臨時情報」が出され、不安感が高まっていたところに警戒域に含まれていた神奈川県域で大きな地震が発生したことでした。

その直後から首都圏の食品スーパーの店頭からお米が消えた映像がSNSで拡散され、普段ストックを置かなかった家庭が買い置きに走り、供給不足感が定着してしまいました。それでも小泉新農水相が「お米5kg 2000円台ではなくて2000円だ」と陣頭指揮を執ってからは状況が劇的に変わっています。

政府与党議員ならば口が裂けても言えない米価対策があります。「皆が買い控えれば米価は暴落する」ということです。デフレ時代の国民の消費行動はまさにこれでした。食料品に限らず、工業製品や家電品までサプライヤーが泣く泣く在庫処分させられるまで買いを手控え、損切りさせてから商品を手にした厄介な消費行動です。もう一度国民に「デフレのうまみ」を思い起こさせてはなりません。これこそ米騒動より日本経済にとって災難となります。



当社では毎年、多くの新卒採用者を迎え入れております。ひとりでも多くの若い力を大切に育て上げたい。会社を通して彼ら、彼女らの人間形成の役に立ちたいと存じます。ぜひとも、大切な生徒様の進路検討に当社を加えてください。

新年度も、東葉警備保障株式会社をどうぞよろしくお願い申し上げます。

松本 隆一郎